

平成 19 年度障害者自立支援調査研究プロジェクト 事業実施報告概要

事業名	子どもの発達支援のためのコミュニティ機能強化事業
事業目的	<p>地域で、発達障害児に対する支援を行っている障害福祉サービス事業所や保護者団体などを調査し、支援者側の実態を把握するとともに、地域コミュニティにおける児童の支援方策を、学識経験者からのアドバイスを受けながら実践・検証し、発達障害児支援機能の強化策の研究を行うとともに、北海道における発達障害者支援のあり方検討に資するものとする。</p>
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己記入式の養育者ストレスチェックシートの作成 保護者のストレスを保健師が把握できるチェックシートを作成し、その記入内容を元に保護者自身のメンタルヘルスの状態、子育ての状態、子どもの状態から発達障害への早期の発見や支援を生み出させる健診方法を検討した。 2. 高校での発達障害が疑われる高校生への支援の現状 義務教育終了後、都市部以外の高等学校は発達障害が疑われる生徒をその地域ぐるみで支援しなくてはならない。そこである地域の高等学校における発達障害支援をフィールドワークし、現状から発達障害の疑われる生徒の自立に必要な要素を検討した。
事業実施結果及び効果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 規模の異なる自治体に対して、健診の受診前に保護者のストレスをチェックする質問紙を行い、健診後には健診への満足度の調査を行った。その結果、新たなチェックリストにより要フォロー群に見落としが存在すること、健診に対して事前の準備をしている保護者が多いこと、健診の内容に対して子どもに関することは満足できているが保護者自身は健診後にストレスが増大していることが明らかとなった。 2. 対象となったフィールドから、高校は学力別で入学者が決まるために、ほとんどの生徒が要支援生徒であり、その問題は多岐にわたっているために学力、就職、地域生活のすべての面において支援が不足していることが明らかとなった。
事業主体	<p>〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 北海道保健福祉部福祉局障害者保健福祉課 電話：011-204-5278(内線 25-721)</p>